



大人になってから口やあごの周りに 繰り返しニキビができます

大人のニキビの原因はさまざま。症状に合った治療が大切です
中野皮膚科クリニック

<http://www.nakano-derma.com/>

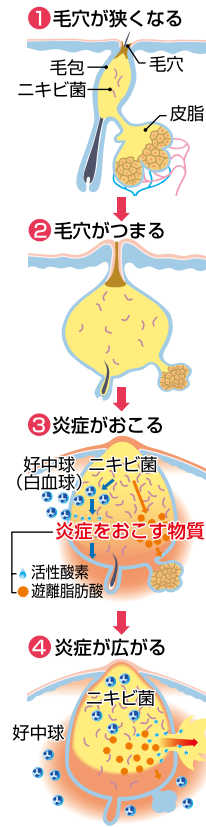
「思春期にできるニキビは、男性ホルモンの働きが活発になり皮脂の分泌が増加することが主な原因です。大人のニキビは、不規則な生活、肌の乾燥、紫外線、喫煙、ストレスによるホルモンバランスの乱れなど、原因はさまざま。また、思春期のニキビは顔の中心にI型にできますが、大人のニキビは、口やあごの周りに触らないようにして治療します。治療中はニキビに合わないような化粧品はノンコンプレックスの化粧品を使用し、ド製品を使用しましょう。」

「自己判断で症状に合わない薬を使い悪化させたり、化膿が進んでニキビ痕の原因になることもあります。また、酒さや多発性毛囊炎、酒さ候群と似た症状が出ることもあります。ニキビは、初期に適切な治療方法が異なります。初期では面皰の形成を抑える外用薬を中心に、炎症のある場合は抗菌・抗炎症の外用薬、症状がさらに進めば内服薬も併用して治療を行うようにしましょう。」

「大人のニキビについて教えてください。」

「思春期にできるニキビは、男性ホルモンの働きが活発になり皮脂の分泌が増加することが主な原因です。大人のニキビは、不規則な生活、肌の乾燥、紫外線、喫煙、ストレスによるホルモンバランスの乱れなど、原因はさまざま。また、思春期のニキビは顔の中心にI型にできますが、大人のニキビは、口やあごの周りに触らないようにして治療します。治療中はニキビに合わないような化粧品はノンコンプレックスの化粧品を使用し、ド製品を使用しましょう。」

ニキビの進行と状態



「治療方法は？」

「ニキビは、初期に何らかの原因で毛穴の角質が増殖がおき、つまることにより面皰(コメド)を生じます。炎症がおきて化膿すると症状が進んでいきます。ニキビの状態が、どの段階なのかで治療方法が異なります。初期では面皰の形成を抑える外用薬を中心に、炎症のある場合は抗菌・抗炎症の外用薬、症状がさらに進めば内服薬も併用して治療します。治療中はニキビに合わないような化粧品はノンコンプレックスの化粧品を使用し、ド製品を使用しましょう。」

「ニキビ治療で注意することはありますか？」

「自己判断で症状に合わない薬を使い悪化させたり、化膿が進んでニキビ痕の原因になることもあります。また、酒さや多発性毛囊炎、酒さ候群と似た症状が出ることもあります。ニキビは、初期に適切な治療方法が異なります。初期では面皰の形成を抑える外用薬を中心に、炎症のある場合は抗菌・抗炎症の外用薬、症状がさらに進めば内服薬も併用して治療を行うようにしましょう。」

03(5342)0722

中野皮膚科クリニック
(マルニビル5階)

診療受付時間	月	火	水	木	金	土
9:30~13:00	○	○	○	○	○	○
15:00~19:00	○	○	○	○	○	17:00まで受付

院長：松尾光馬 日本皮膚科学会皮膚科専門医、医学博士。東京慈恵会医科大学医学部卒業、同大附属病院皮膚科非常勤講師

2015年1月31日付 「リビング東京副都心」に掲載されました